

## 果樹先導的取組支援事業における「高温対応資機材の導入」について

(問1)

対象となる資機材とは

(答)

支持設備と一体的に導入する遮光ネット、かん水設備と一体的に導入するマルチシート、果実や樹体の冷却を目的とする細霧冷房等が対象となります。

(問2)

支持設備と一体的に導入する遮光ネット

(答)

- ・遮光ネットは、野外又は施設内でも設置可能。
- ・「支持設備」については、固定するための支柱や雨よけ設備等が想定されるが、既に導入済の支持設備があれば遮光ネット単品でも補助対象。
- ・既に支援対象となっている改植・新植と一体的に整備する果樹棚や天井からの支持支柱等も支持設備として認められる。
- ・遮光ネットの展張等を行うためのワイヤー、番線、ネットの巻き上げ装置については支援対象。

(問3)

点滴かん水設備と一体的に導入するマルチシート(被覆資材)

(答)

- ・点滴かん水設備等と一体的に導入する場合に支援対象。なお、既に導入済の点滴かん水設備があればマルチシート単品でも補助対象。
- ・マルチシートについてはタイバックも含まれる。
- ・材質について、タイバックの様に遮光性・遮熱性を備え、かん水設備と一体的に運用することで土壤水分量を細かく調整できるものが支援対象。

白色反射シートについて

マルチシートの支援対象については、「遮光性・遮熱性を備え、かん水設備と一体的に導入することで土壤水分量を細かく調整できる(耐水性を持つ)ものを支援対象としておりますので本資材については支援対象。なお、既にかん水設備がある場合は資材のみの導入も可能ですが、基本的にかん水設備との一体的導入を想定しておりますのでご注意ください。

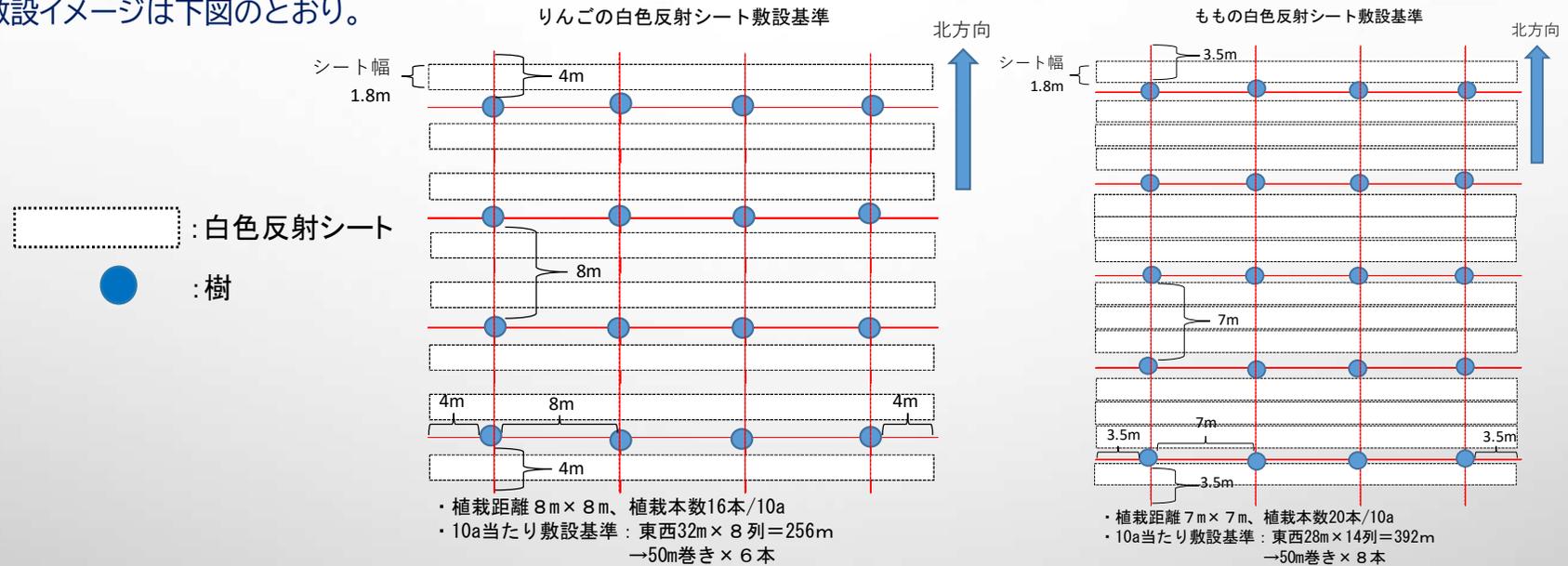
(問4)

白色反射シートの基準等

(答)

10aあたり、りんごの場合は50m巻き(1.8m幅)×6本、ももの場合は50m巻き(1.8m幅)×8本を基準とします。

※敷設イメージは下図のとおり。



(問5)

果実や樹体の冷却を目的とする細霧冷房

(答)

- ・ハウス内だけでなく、屋外の細霧冷房も対象となるが、果実や樹体の冷却を目的とするものに限る。
- ・用水設備と一体整備のほか、既存水源があれば資材のみの導入は支援対象。
- ・「樹上かん水装置」のような、果実や樹体の冷却が可能なかん水装置についても支援対象。
- ・一方、循環扇、送風装置(送風ファン)は支援対象外。